

2022年5月26日

各位

三井住友信託銀行株式会社

株式会社ウェイストボックスとの資本業務提携について
～地域企業への脱炭素経営サポートの取組推進～

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山一也、以下「当社」)は、地域企業への脱炭素経営サポートの取組推進を目的として、株式会社ウェイストボックス(代表取締役 鈴木修一郎、以下「ウェイストボックス」)と資本業務提携(以下「本提携」)を締結致しました。

ウェイストボックスは、主に上場企業を対象とした GHG 可視化領域において、豊富な実績を持つコンサルティング会社であり、中小企業向けにおいても、環境省主催の「中小企業向け SBT(※1)・再エネ 100%目標設定支援事業(※2)」において、豊富なコンサルティング実績を誇っています。

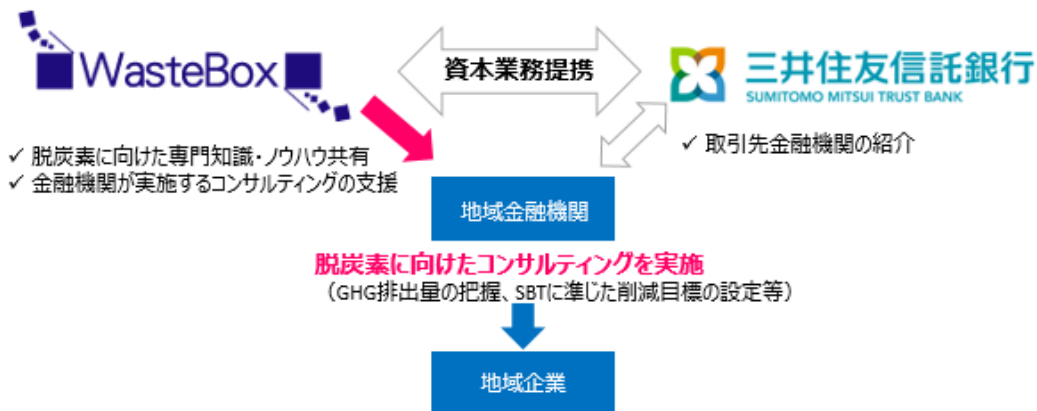
本提携を通じ、当社は、地域金融機関とウェイストボックスとの連携を図り、地域企業の脱炭素経営に関する課題解決を支援し、持続可能な地域社会の発展に貢献していきます。また、この地域金融機関との取組を主軸として、ウェイストボックスとは脱炭素に関する法人・投資家向けの各種サービス拡充を検討いたします。

当社が属する三井住友トラスト・グループは、「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」をパーパス(存在意義)に掲げています。本提携により、引き続き、お客さまの社会・環境の変化に伴うさまざまな課題の解決に積極的に貢献することを目指していきます。

※1 SBT: 「Science Based Targets」の頭文字をとったもの。パリ協定が求める水準と整合した中長期(5年～15年)の GHG 削減目標を持つこと。

※2 中小企業向け SBT・再エネ 100%目標設定支援事業:環境省が主催し、脱炭素経営に意欲がある中小企業等を対象に、中小企業における SBT 水準に整合する中長期の削減目標設定の支援、再エネ 100%の設定支援を行った事業。

【地域金融機関とウェイトボックスとの連携のイメージ図】



＜ウェイトボックスから地域金融機関へ提供するサービス＞

- ✓ 研修などを通じて GHG プロトコルに基づく GHG 排出量算出 (Scope1~2) のノウハウを伝授。
- ✓ 地域金融機関が GHG 排出量の把握、SBT に準じた削減目標の設定等のコンサルティングを行い、地域企業の脱炭素経営実現に伴走支援できる体制構築をサポート。

【ウェイトボックスの概要】

代表者	代表取締役 鈴木 修一郎
本社所在地	愛知県名古屋市中区栄 2-6-1 RT 白川ビル 2 階
設立年月	2006 年 2 月
事業内容	・GHG 関連事業 (SCOPE1,2,3 把握、SBT,TCFD, RE100, CDP 情報開示支援) ・製品・サービスの排出量調査 (LCA、CFP 等) ・排出権権利化代行 (J-クレジット創出支援等) ・カーボン・オフセットプロバイダー事業 上記に付帯する環境コンサルティング事業

以上